

III 警 防 編

1 消防力の現況（令和6年12月末日）

（1）消防職員の現況

区 分	消 防 本 部	中 央 署	西 署	合 計
警 防 要 員		105	39	144
救 急 要 員		36	12	48
警 防 ・ 救 急 要 員			75	75
予 防 要 員	10	4	2	16
そ の 他 の 要 員	37	1	2	40
合 計	47	146	130	323

（2）消防団員の現況

区 分	警 防 要 員	本 部 要 員	合 計
釧 路 市 消 防 団	394	6	400

（3）消防水利（地域別消防水利施設現勢表）

地区 水利	公 設				
	消 火 栓	防 火 水 槽 (40m ³ 級)	耐震性貯水槽 (100m ³ 級)	指 定 水 利	計
大 森 毛	202	11			213
鉄 西	256	33			289
白 糠	125	45			170
阿 寒	87	13			100
阿 寒 湖 温 泉	24	7		1	32
音 別	22	26			48
愛 国	153	31			184
鉄 北	227	35			262
橋 北	120	41	1	1	163
橋 南	317	82	1	3	403
春 採	149	31			180
白 樺	37	2			39
山 花	2				2
釧 白	16				16
合 計	1,737	357	2	5	2,101

(4) 消防車両等の現況

種別		管理区分	消防本部	中央署	西署	白糠支署	消防団	合計
消防ポンプ自動車	普通 (予備車)		2 (2)	9 (4)	8 (1)	白糠 2	17 19	36 (5)
	水槽付 (予備車)		7 (2)		8 (1)		2	
はしご車	直伸		1					3
	屈折		1	1				
特殊車	化学消防車		1	1				2
	指揮隊車		1					1
	機材運搬車			4	白糠 1			4
	小型梯子車		1					1
	救助工作車		1					1
	災害支援車		1					1
	小型動力ポンプ付水槽車			3	白糠 1			3
	小型動力ポンプ積載車						9	9
救急車 (予備車)			6 (2)	8 (3)	白糠 2 白糠 (1)			14 (5)
その他の車両	緊急車	4	5	5	白糠 1			14
	その他	4		1				5
合計 (予備車)		8 (0)	27 (6)	31 (4)	白糠 7 白糠 (1)		28	94 (10)

※ () 内及び白糠支署は内数

2 警防体制

(1) 部隊編成

釧路市は地震多発地帯に位置し、かつ市街地は川によって3分割されていることから、消防体制としてこれらの地域が独立して警防活動ができるように消防部隊を編成している。

ア 消防本部部隊編成

司令本部 ———— 指揮本部 ———— 30 隊
 └——— 救急隊 ———— 8 隊

イ 釧路市の消防団部隊編成

消防団司令本部———18 箇所分団消防隊

(2) 出動計画

市街地の防火対象物建ぺい率、構造、消防水利等を分析し、釧路市消防警防規程及び釧路市消防警防規程運用要綱で定めている。

ア 火災出動計画

出 動 区 分	出 動 台 数	出 動 基 準
第 1 出 動	6 台 ～ 7 台	火災を覚知した時
第 2 出 動	10 台 ～ 12 台	現場最高指揮者が消防隊の増強を認めた時
第 3 出 動	18 台 ～ 19 台	現場最高指揮者が、火災の規模により第 2 出動では対応し難いと判断し、消防隊の増強を認めた時
特 命 出 動	必 要 台 数	災害状況に応じて現場最高指揮者が要請

イ 救助救急出動計画

覚 知 時 3 台 ～ 5 台 (救急車含む)
特命出動 必要数

ウ 警戒出動計画

覚 知 時 1 台 ～ 2 台

エ 非常災害時出動計画

地震・津波・風水害等の自然災害発生時、通常の消防体制では対応できない場合の計画を定め、消防部隊の増強を図る。

オ 石油コンビナート等特別防災区域内出動計画

当市の西港区域石油貯蔵施設は石油コンビナート等災害防止法により特別防災区域として指定されており、北海道石油コンビナート等防災計画に基づき、高所放水車及び化学車等を基本に消防部隊の増強を図る。

(3) 消防救助活動に対する民間協力体制

消防が有する装備と資機材では対応し難い災害への対策として、特殊資機材、重機等を有する民間企業が消防救助活動に協力する『釧路市救助協力会』を結成している。

ア 設 立 昭和 56 年 4 月 22 日
イ 組 織 5 部会 33 事業所

(4) 林野火災及び大規模災害に対処する防災体制

釧路市愛国 191 の 1 に『空中消火等補給基地』（ヘリコプター離着陸広場 8,000 m²、40m³級貯水槽 1 基、資機材保管施設 1 棟、消火薬剤散布装置 3 基）を設置し、林野火災の消火及び大規模災害時の救助救急等に備えている。

3 火災・警戒出動概要

令和6年中の出動状況は43件の火災が発生し、車両延べ324台、職団員延べ1,615名が出動し消防活動を行った。その概要は次表のとおりである。

(1) 火災出動状況

月	区分	火災件数	出動台数(台)			出動人員(名)		
			消防署	消防団	計	消防署	消防団	計
1月		4	25	4	29	71	32	103
2月		8(1)	71(4)	12	83(4)	238(17)	94	332(17)
3月		4	21	4	25	76	25	101
4月		4(1)	37(8)	15(6)	52(14)	137(23)	76(31)	213(54)
5月		5(2)	30(13)	14(11)	44(24)	92(36)	69(39)	161(75)
6月		2	18	4	22	67	28	95
7月					0			0
8月		3	30	6	36	112	34	146
9月		2	32	4	36	109	37	146
10月		4(1)	15(9)	5	20(9)	43(25)	30	73(25)
11月		4(1)	21(8)	8(5)	29(13)	66(24)	35	101(24)
12月		3(1)	24(9)	7	31(9)	98(29)	46(22)	144(51)
合計		43(7)	324(51)	83(22)	407(73)	1,109(154)	506(92)	1,615(246)

※()は、白糠町の内数

(2) 過去5年間の火災出動状況の推移

区分 年	火災件数	出動台数(台)			出動人員(名)		
		消防署	消防団	計	消防署	消防団	計
令和2年	57(2)	353	74	427	1,268	529	1,797
令和3年	48(7)	274	54	328	944	402	1,346
令和4年	50(6)	277	59	336	920	316	1,236
令和5年	50	312	57	369	1,106	381	1,487
令和6年	43(7)	324	83	407	1,109	506	1,615

※()は、白糠町の内数

(3) 過去5年間の警戒出動状況及び推移

年 区分	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
出 動 件 数	836	(63)	1,042	(75)	886	(61)	966	(66)	1,072	(69)
集 合 煙 突	1		2	(2)	1		3		3	
焚 き 火	2		2				1		1	
電 柱	1		3	(2)			1		1	
異 常 燃 焼	5		7	(1)	3		2		5	
油 関 係	98	(7)	117	(6)	112	(4)	129	(2)	141	(8)
ガ ス 関 係	3		2		4		9		6	
自 火 報	63	(3)	70	(3)	70	(2)	97	(4)	68	(3)
漏電警報器	1									
非 常 警 報	0		2	(1)	2		1			
緊急ボタン	15	(1)	8	(1)	8	(2)	5	(1)	5	
危 険 排 除	54	(8)	163	(7)	52	(5)	47	(2)	69	(6)
そ の 他	593	(44)	666	(52)	634	(48)	671	(57)	773	(52)
出 動 台 数	1,864	(123)	2,395	(116)	1,974	(125)	2,217	(130)	2,419	(134)
出 動 人 員	7,215	(446)	8,984	(385)	7,166	(384)	7,928	(428)	8,745	(427)

※ () は、白糠町の内数

4 救助出動概要

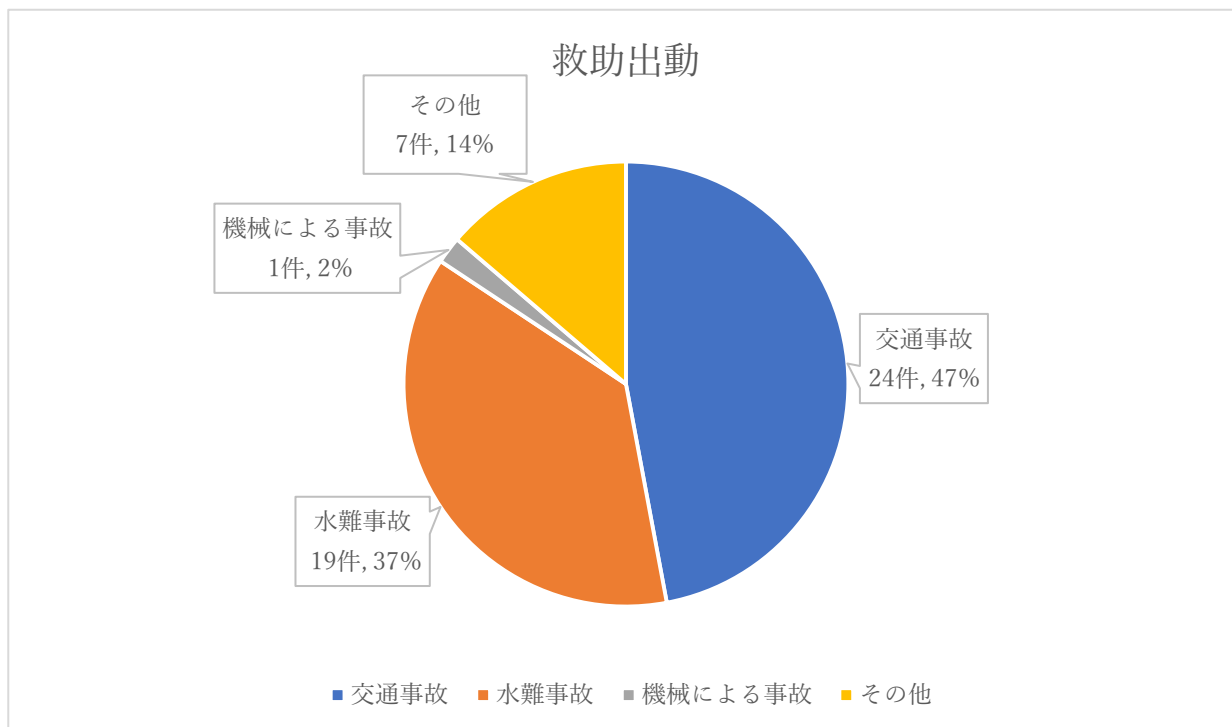
令和6年中の救助出動は51件発生し、車両延べ289台、人員延べ1,109名が出動し救助活動を行った。その概要は次表のとおりである。

(1) 前年比救助出動状況

区分 \ 年	令和5年		令和6年	
	出動件数	救助人員	出動件数	救助人員
出 動 件 数	55 (3)	46 (4)	51 (1)	54 (1)
交 通 事 故	23 (2)	21 (3)	24	28
水 難 事 故	19	13	19	19
自 然 災 害				
機 械 に よ る 事 故			1	1
ガス及び酸欠による事故	1	2		
建物等による事故				
爆 発 事 故				
そ の 他	12 (1)	10 (1)	7 (1)	6 (1)
出 動 台 数	280 (13)		289 (7)	
出 動 人 員	1,103 (55)		1,109 (20)	

※ () は、白糠町の内数

(2) 事故種別救助出動状況



(3) 月別救助出動状況

区分 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出 動 件 数	2	8	4	1	4	4	4	4	4	4	8	4	51
交 通 事 故		1	3	1	2	2	1	4	3	2	3	2	24
水 難 事 故	1	3	1		2	1	2		1	2	4	2	19
自 然 災 害													0
機 械 に よ る 事 故	1												1
ガス及び酸欠による事故													0
建 物 等 に よ る 事 故													0
爆 発 事 故													0
そ の 他		4				1	1				1		7
出 動 台 数	9	59	19	4	22	24	28	21	23	20	38	22	289
出 動 人 員	30	260	74	13	94	75	97	79	92	70	149	76	1,109
救 出 人 員	2	6	5	1	4	5	4	4	5	3	10	5	54

(4) 署々別救助出動状況

区分 \ 署	中 央 消 防 署	西 消 防 署	合 計
出 動 件 数	26	25 (1)	51 (1)
交 通 事 故	9	15 (6)	24 (6)
水 難 事 故	13	6 (1)	19 (1)
自 然 災 害			
機 械 に よ る 事 故		1	1
ガス及び酸欠による事故			
建 物 等 に よ る 事 故			
爆 発 事 故			
そ の 他	4	3 (1)	7
出 動 台 数	169	120 (7)	289 (7)
出 動 人 員	646	463 (20)	1,109 (20)
救 出 人 員	24	30 (1)	54 (1)

※ () は、白糠町の内数

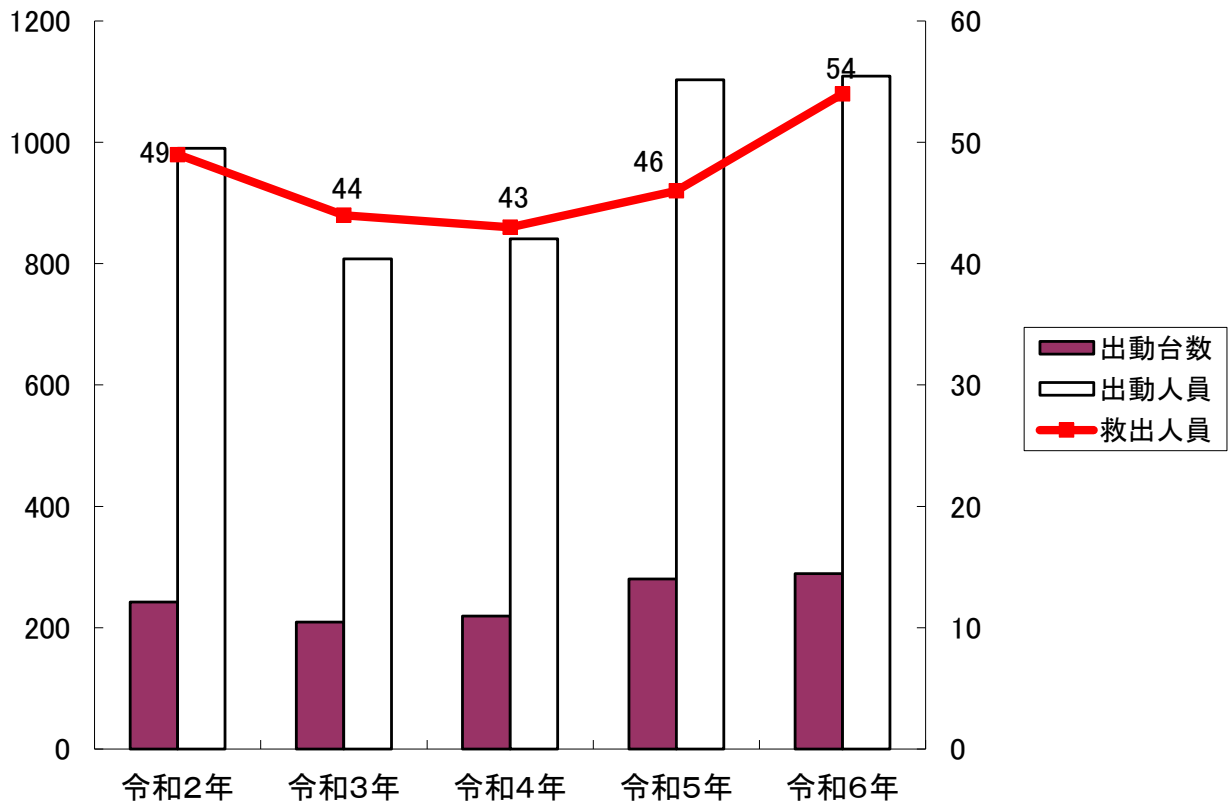
(5) 過去5年間の救助出動状況の推移

区分 \ 年	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
出 動 件 数	41	(5)	41	(5)	47	(7)	55	(3)	51	(1)
交 通 事 故	17	(4)	22	(4)	26	(6)	23	(2)	28	
水 難 事 故	12		8		8	(1)	19		19	
自 然 災 害										
機 械 に よ る 事 故	1	(1)			1				1	
ガス及び酸欠による事故							1			
建 物 等 に よ る 事 故	6									
爆 発 事 故										
そ の 他	5		11	(1)	12		12	(1)	7	(1)
出 動 台 数	242	(20)	209	(26)	219	(18)	280	(13)	289	(7)
出 動 人 員	990	(83)	808	(95)	841	(75)	1,103	(55)	1,109	(20)
救 出 人 員	49	(10)	44	(7)	43	(6)	46	(4)	54	(1)

※ () は、白糠町の内数

出動台数
出動人員

救出人員



5 消防通信

消防通信は、有線通信及び無線通信に大別され、それぞれの法令（有線電気通信法・電波法）に基づき運用されている。

（１）有線通信施設

区分	種別	施設数	適用
有線電話	消防救急指令台	119番回線	4回線 緊急呼用ISDN回線・同時8CH (一般・携帯・IPすべて重畳)
		指令施設用回線	1式 音声指令14回線 指令伝送14+1(大規模)回線
		指令台用局線	2回線 ISDN回線・同時4CH
		順次指令用局線	2回線 ISDN回線・同時4CH
		IT情報端末装置	1回線 FTTH
	一般	加入電話	27(2)回線 本部・署・分署・支署・分団(13箇所) (ISDN回線・電話・FAX)
		FAX専用回線	1回線 光電話2CH(指令台収容)
		災害情報自動案内	1契約 契約番号数1(チャンネル数20)
		内線電話	252(4)回線 本部・署・分署・支署
		北海道総合行政情報ネットワーク専用電話	1回線 本部総務課

※ 市インフラ用光ファイバーを活用し、多重装置で実現（指令回線・指令電送・内線回線・デジタル無線・消防情報支援システム・大規模災害装置）

※ 白糠支署はビジネスイーサワイド（指令回線・指令電送・内線回線）及びフレッツ光（消防情報支援システム）を活用

※ 白糠町役場のデジタル無線基地局はビジネスイーサワイドで接続

※ （ ）内は白糠支署内数

（２）無線通信施設

区分・種別				施設数	適用
無線設備	基地局		デジタル	5(1)局	20W（中央消防署東分署・阿寒支署・阿寒湖温泉支署・音別支署・白糠町役場） →移動局、受令機の災害指令
	簡易基地局		デジタル	1局	10W（仁々志別小学校）→陸上移動局の通信
	固定局		デジタル	3局	東分署基地局用アプローチ回線
	陸上移動局	卓上型	デジタル	25(2)局	5W→署・支署10局, 分団11局, 本部4局
		可搬型	デジタル	2局	
		車載	デジタル	96(15)局	
		携帯	デジタル	117(18)局	
	受令機		署所端末用	14(1)台	本部・各署・各支署
携帯型			19台	分団	
その他	携帯電話			27(3)台	警防課3台, 通信指令課1台, 中央署4台, 東分署2台, 愛国支署2台, 桜ヶ岡支署1台, 西署2台, 大楽毛支署1台, 阿寒支署2台, 阿寒湖温泉支署3台, 音別支署2台, 白糠支署3台, 市立病院1台
	衛星携帯電話			2台	本部1台, 警防課1台
	車両運用端末装置（ＡＶＭ）			41(3)台	消防隊16台, 救急隊10台, 分団15台
	動画伝送装置			1台	指揮隊

※ （ ）内の数字は白糠支署内数

(3) 無線チャネル系統

		司令本部 (消防本部)	中央消防署			西消防署			
			中央方面隊	東方面隊	西方面隊	阿寒方面隊	阿寒湖温泉方面隊	音別方面隊	白糠方面隊
通常通信	消防用活動波	活動波1				活動波2			
	救急用活動波	活動波4							
緊急通信	一般災害	消防用活動波	活動波1・活動波3(指揮命令及び現場活動)				活動波2(指揮命令及び現場活動)		
		救急用活動波	活動波4(指揮命令及び現場活動)						
		情報用活動波	活動波5(災害現場と指令室間の情報連絡用)						
		指令用活動波	活動波6 * 指令放送有線回線切断時、全ての音声合成指令を署所端末装置へ送出						
	大規模非常災害	消防用活動波	活動波1 活動波2 活動波3	活動波1	活動波3	活動波2			
		救急用活動波	活動波6(司令本部からの救急指令及び現場活動)				活動波4(司令本部からの救急指令及び現場活動)		
		情報用活動波	活動波5(司令本部と中央消防署、西消防署、東分署間の通信)						
	共通波	主運用波	主運用波4(北海道波)						
統制波		統制波1・統制波2・統制波3							

(4) 災害通報等受付件数

項 目	火 災	警 戒	救 助	救 急	その他	合 計
119番受付	52	874	33	10,384	5,078	16,421
	(7)	(55)	(1)	(470)	(174)	(707)
119FAX	0	0	0	0	0	0
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
加入電話受付	6	95	4	70	26	201
	(0)	(6)	(0)	(4)	(1)	(11)
警察電話受付	4	52	15	44	199	314
	(1)	(7)	(0)	(2)	(7)	(17)
無線受付	0	3	0	4	1	8
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
駆け付け通報	0	0	0	13	11	24
	(0)	(0)	(0)	(3)	(0)	(3)
その他	0	22	0	11	360	393
	(0)	(1)	(0)	(3)	(12)	(16)
合 計	62	1,046	52	10,526	5,675	17,361
	(8)	(69)	(1)	(482)	(194)	(754)

※ 各項目下段 () 内の数値は、白糠町の件数で上段の内数

注 合計欄その他の内訳

項 目	問 合 せ	訓 練	試 験	誤 報	いたずら	携帯転送	そ の 他	合 計
件 数	746	1,430	1,180	736	89	89	1,405	5,675

※ 災害通報等受付件数は、実災害件数とは異なります。(消防隊と救急隊が同時出動する火災、救助及び警戒出動は救急隊が出動していても救急受付件数には含まず、それぞれの災害項目に形状されます。)

6 研修及び訓練実施状況（令和6年実績）

（1）研修

種別	項 目		対 象 及 び 内 容	期間・回数	人員・時間
本 部 研 修	資格取得		大型自動車運転免許取得	1 回	10 人
			無線従事者免許取得	1 回	3 人
			潜水士資格取得	1 回	2 人
	派 遣	病院実習	救急救命士資格者	64 回	64 人
		消防学校	初任教育前期	91 日間	2 人
			初任教育後期	86 日間	6 人
			専科教育救急科	23 日間	6 人
			特別教育はしご自動車運用課程（休止）	日間	人
			特別教育広域応援指揮課程	11 日間	1 人
			第 31 期救急救命士養成課程	123 日間	1 人
		消防大学校	専科教育危険物科	29 日間	1 人
	市職員研修		釧路市職員研修計画による	15 日間	79 人
	新規採用職員研修		令和 6 年度採用職員	12 日間	14 人
	専科研修		指導者育成研修	7 日間	6 人
			水難救助隊員養成研修	1 回	2 人
			予防課程	3 回	13 人
	特別研修		消防職員意見発表会	1 回	11 件
			消防職団員研究発表会	1 回	6 件
所 属 研 修	係 別 研 修	消防隊研修	中央消防署	350 回	348 時間
			西消防署	702 回	921 時間
		救助隊研修	中央消防署	344 回	459 時間
			西消防署	94 回	120 時間
		救急隊研修	救急資格者研修	965 回	1,626 時間

(2) 訓練

種 別		項 目	対 象 及 び 内 容	期間・回数	人員・時間
本部 訓練	演 習	春季消防演習	観閲	1 回	18 台 193 人
		秋季消防演習	観閲・団競技大会	1 回	18 台 208 人
	各 種 訓 練	救助隊員養成訓練	指定された隊員	10 日間	6 人
		梯子自動車等運用課程特別教育	指定された隊員	3 日間	5 人
		救助技術訓練指導会訓練	指定された隊員	52 日間	8 人
		レスキュートレーニング（高度救助）	指定された隊員	52 時間	2 人
所 属 訓 練	係 別 専 科	消防隊訓練	中央消防署	1,248 回	1,534 時間
			西消防署	2,615 回	3,131 時間
		救助隊訓練	中央消防署	1,684 回	2,535 時間
			西消防署	618 回	798 時間
		救急隊訓練	救急資格者訓練	1,112 回	1,355 時間

(3) 消防団

種 別		項 目	対 象 及 び 内 容	期間・回数	人員・時間
研 修 訓 練	研 修	資 格 取 得	自動車運転免許（中型・準中型）取得	3 回	3 人
		特 別 研 修	女性消防団員研修	1 回	24 人
			機関教養	回	中止
			予防教養	3 回	25 人
		視 察 研 修	消防団員技能競技大会視察	1 回	5 人
		釧 路 市	消防団員基礎教育	9 回	137 人
		北海道消防学校入校	特別教育指揮幹部科	1 回	1 人
	競 技 大 会	釧 路 市 消 防 団 員 （公財）北海道消防協会 釧路地方支部消防団員 技 能 競 技 大 会	ポンプ自動車・小型ポンプ	8 箇所分団	83 人
			釧路市（9 月 14 日） ポンプ自動車・小型ポンプ	8 箇所分団	83 人
	訓 練	防 災 訓 練	分団個別防災訓練	17 回	199 人
		防 ぎ よ 訓 練	競技訓練	80 回	876 人
			署・団合同訓練	18 回	166 人